

お知らせ

教育振興会より図書を寄贈いただきました

令和3年度教育振興会予算により附属図書館に106冊（122,497円分）の図書を寄贈いただきました。学生の皆様の充実した学生生活のため、読書活動の推進に有効に活用します。図書館Webサイトと図書館メールニュース（メールマガジン）により広報を行いました。



教育振興会寄贈図書 特設コーナー



小説やベストセラー図書



話題の図書



展示パネル

学修支援センター自習室に複合機設置

このたび学生の学びをサポートするために教育振興会の学修環境整備事業としての支援を得て、自習室の利用促進をはかり、多くの学生が自習学修意欲を高めることを目的として複合機を導入することが決定いたしました。

プリペイドカード（500P/枚）を毎年度配付し、毎年度引き換えにて更新することにいたします。毎年度1枚の配付になりますので2枚目以降は自己負担といたします。

令和4年4月より運用開始します。



看護学部[看護学科] * 保健医療学部[救急救命学科・柔道整復学科] * 鍼灸学部[鍼灸学科]
大学院[鍼灸学研究所・保健医療学研究所]

〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1181 FAX 0771-72-1189 E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp



明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.22

大学情報誌



ご卒業、おめでとうございます！

優しい春の風に包まれた3月15日(火)、卒業生172名が覚悟と誇りを胸に、新たな門出を迎えました。当日は、矢野学長の卒業生に向けた温かい式辞に始まり、各学部の代表者が卒業証書・学位記を受け取った後、救急救命学科の岩城空さんが学生の代表としてこれまでの学校生活の思い出と感謝の気持ちを答辞で述べました。式典後のクラス懇談会では、全員が卒業証書を受け取り、先生方の編集されたメッセージ動画を鑑賞するなど、先生方とともに夢に向かった仲間たちとの笑いと涙にあふれた最後の時間を過ごしました。

人生は、日々勉強。それぞれのステージに進んでも、建学の精神にある「和」を大切に、これからも学び続けてほしいと思います。

成績優秀表彰者

- | | | | |
|--------------|----------------|------------------|----------------|
| 学長賞 | 森 健太郎 (鍼灸学科) | 鍼灸学系大学協議会優秀賞 | 押久保皓生 (鍼灸学科) |
| 学長賞 | 前田 尚輝 (柔道整復学科) | 日本鍼灸師会賞 | 井上 寛大 (鍼灸学科) |
| 学長賞 | 岩城 空 (救急救命学科) | 全日本鍼灸マッサージ師会表彰 | 大槻匠一朗 (鍼灸学科) |
| 学長賞 | 小島 幸菜 (看護学科) | 日本柔道整復接骨医学会賞 | 吉日向日葵 (柔道整復学科) |
| 特別功労賞 | 林 美七海 (鍼灸学科) | 日本柔道整復師会会長賞 | 吉松 大地 (柔道整復学科) |
| 特別功労賞 | 丸山 佳代 (柔道整復学科) | 全国救急救命士教育施設協議会表彰 | 伊藤 玲美 (救急救命学科) |
| 特別功労賞 | 古賀向日葵 (柔道整復学科) | 日本私立看護系大学協会会長表彰 | 伊坂 南美 (看護学科) |
| 全日本鍼灸学会 会長表彰 | 井上 弥咲 (鍼灸学科) | 京都府看護協会花束贈呈 | 木村 雪乃 (看護学科) |

3年生国家試験対策

3年生国家試験対策の様子

本学鍼灸学部は日本で唯一、在学中の3年生ではり師・きゅう師国家試験を受験できる大学です。4年生の臨床実習では、教員の指導の下、「鍼灸師」として主体的に臨床実習を行えるのが明治の強みとなっています。

今年度はコロナ禍においても十分な感染症対策を行い、放課後には学生が質問できるように教員室周辺に自習スペースを開放しました。17時半以降から21時頃まで自主的に残って勉強してきた学生もいます。「もう質問に来なくても大丈夫！」と言われるくらい熱心に質問に来るA君は、質問の量と成績の伸びは比例していることをつくづく感じました。単調な国試勉強の中においても明るい気持ちになってもらいたいという思いから、12月からはクリスマスツリーを教員室前に飾り、「ログインボーナス」と称しツリーにお菓子を取り付け支給し、楽しんで勉強してもらおう工夫を行いました。学生のBさんは、自分の欲しいお菓子を皆に見つからないようにツリーの奥に隠していましたね(笑)。

国家試験当日はこれまで勉強してきたことを発揮する場です。我々教員は、試験当日はただ学生の合格を信じて祈るだけです。そんな思いを込めて、学生には鍼灸学部の全教員で袋詰したキットカットと菅原道真公を祀ってある北野天満宮の合格祈願の鉛筆をプレゼントしました。落ち着いて実力を十二分に発揮し、合格を勝ち取ってくれることを教員一同、心から祈っています。



柔道整復師国家試験

国家試験壮行会

第30回柔道整復師国家試験が3月6日(日)、大阪電通大学で開催されます。

国家試験に臨む4年生全員の健闘を祈り、2日前の3月4日(金)に壮行会を行いました。

新型コロナウイルスの感染予防のため、オンラインでの実施となりましたが、柔道整復学科4年生全員と柔道整復学科教員が出席しました。

冒頭では、岡田学科長が激励の言葉を述べられました。先生方からは、ご自身が受験された時の体験や当日の心構えなど、4年生にとっては心強いお話を頂きました。

また、クラス委員長の前田尚輝さんは、「これまで関わってくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、日曜日の試験全力で頑張りたい」と抱負を述べました。

コロナ禍の中、様々な困難を乗り越えてきた4年生なので全員で合格を勝ち取るよう健闘を祈ります。



国家試験オンライン壮行会



8号館4階での勉強会

国家試験に向けて

目指せ全員合格!

救急救命学科では1班7-8名のゼミ形式での国家試験対策を行っています。それぞれのゼミ班に担当教員がつき、学生毎に細やかな指導をしてきています。また、学生の自主活動として、学生主体の「国家試験対策委員会」を組織しています。委員会では模擬試験の実施時期など学年全体の方針を相談し、また各ゼミの学習状況の共有を行い、その情報を参考にした改善案を検討しています。これらの対策の他、教員による個別指導や、いくつかのテーマを決めての少人数の補習授業を行っています。

昨年度国家試験を受験した1期生は34名中30名が合格し、合格率は88.2%でした。3月13日(月)に執り行われる国家試験では合格率100%を目指し、学生・教員一同、一丸となって邁進して参ります。



国家試験対策講義の様子①



国家試験対策講義の様子②



ゼミ学習の様子

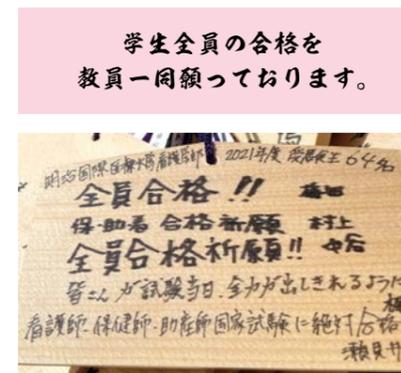
大学4年間を通じて臨む国家試験対策

大学4年間を通じて臨む国家試験対策

看護学部では1学年生から、国家試験模試や必修問題試験等を活用して、国家試験を見据えた取り組みを行っています。

最終学年では、国家試験模試や外部講師によるセミナー、そして教員による専門領域別の国家試験の内容に沿った講義を実施し、合格に向けて学生と共に歩んできました。

今年は新型コロナウイルスの影響により、国家試験に臨む学生達を応援する壮行会が実施できませんでしたが、教員の応援メッセージを届けられるように、合格祈願のアイテムとメッセージカードを郵送させて頂きました。



大学院 授業紹介

今回は、大学院の授業にお邪魔しました。大学院生が日々、どんな勉強をしているのか、少しでも知っていただけたら幸いです。

【基礎鍼灸医学】担当：和辻 直先生

「この科目では、自立した研究者を育成するために、鍼灸医学に関連する基礎医学的分野と鍼灸医学分野の基礎理論を学習し、基礎鍼灸医学の研究における基礎知識を理解していきます。この科目には形態学領域・機能学領域・免疫学領域・基礎鍼灸医学領域があり、現代医学から鍼灸医学まで、幅広い内容を学習していきます。

私が主に担当する基礎鍼灸学領域では、東洋医学の診察法である舌診（ぜっしん）を題材に、東洋医学的なみかたと現代医学的なみかたの両方を理解できるように学習しています。

具体的には、舌の機能を理解し、舌所見から得られた情報をどのように活用できるかを学んでいきます。例えば、赤い舌では発熱している時、白い舌では貧血や身体が冷えている時などというように体の状態を捉えていきます。皆様の舌はいかがでしょうか？一度、鏡でご覧ください。健康的な舌は淡い赤色で、薄く白い苔、少し水けがある状態です。なお舌を5秒以上長く出すだけで、舌の色調が変わります。

これは鍼灸臨床でも簡便に応用できるため、その診察法を復習し、鍼灸センターの診療にも利用してもらっています。難しい内容ですが、少しでも分かりやすく伝えられるよう、日々工夫しています。」



大学院修士課程1年生の授業の様子

修士論文発表会

大学院修士課程の2年を振り返って

2021年度に本学大学院修士課程を卒業する村迫萌生さんに、2年を振り返った感想を聞きました。



修士論文発表会



村迫さんからのコメント

私が大学院に入学する前、研究というものができののだろうかという強い不安を持っていたことを今でも覚えています。しかし、実際に大学院に入学してみると、1から研究とは何かを知ることができるよう授業が組まれており、また、多くの先生方が大変親身になって教えてくださったおかげで、無事、修士論文を書き上げることができました。特に、指導教員の松本教授には沢山のご迷惑をかけ、多くの時間を割いてくださり、数えきれないくらいアドバイスをいただき、本当に感謝しております。

大学院の授業の中で、最も印象に残っているのは、他の研究機関へ見学させていただく学外実習です。その時間は大変有意義なもので、他で実際にされている研究とはどういうものなのか、また、実際にオベの見学をさせていただくことで、人の身体の実際にも触れることができました。この大学院でだからこそ繋げていただけたご縁であり、大変感謝しております。

学校生活では、学部生と関わる機会も多く、学部生が勉強や、部活動に励む姿から沢山のエネルギーをいただきました。また、先生方からの興味深いお話もいただき、とても充実した学生生活を送ることができました。

私の大学院生としての2年間は、学部生とはまた違ったとても有意義な時間であり、この大学院に入学できて本当によかったと思っております。

女子柔道部 全日本学生体重別で丸山選手が3位と活躍

2021年11月26日(金)、コロナ禍で延期となっていた全日本学生柔道体重別選手権大会(男子40回・女子37回・個人戦)が千葉ポートアリーナで行われ、本学女子柔道部から関西予選を勝ち抜いた5人が出場。女子57kg級で丸山佳代選手(柔道整復学科4年)が個人戦では本学の過去最高成績となる3位と躍動。同52kg級・48kg級でも林美七海選手(鍼灸学科4年)、宮城杏優菜選手(柔道整復学科2年)が5位と健闘しました。3位に入った丸山選手は、「厳しい試合が続きましたが、最後まで我慢強く戦い抜くことができました。目標にしていた優勝を逃し悔しい気持ちでいっぱいですが、4年間の集大成として最後に結果を残すことができよかったです」と感想を話しました。



3位入賞の丸山選手

5位に入賞した宮城(左)、林(右)選手

全日本学生体重別団体優勝大会(7人制)で3位の快挙

2021年12月8・9日(水・木)の2日間、7階級で構成するチームで柔道大学日本一を争う男子第23回、女子第13回全日本学生体重別団体優勝大会が兵庫県尼崎市のペイコム総合体育館で行われました。新型コロナウイルスの影響で2020年度は中止となり、2年ぶりの開催となった大会に創部5年目となる本学女子柔道部が初出場し、3位入賞という快挙を成し遂げました。2019年に全日本学生優勝大会の3人制団体で優勝を果たしている本学女子柔道部。今年度は5人制にクラスを挙げ関西大会を制し初出場を果たすも初戦(2回戦)で筑波大学に0-1で敗れ上位進出はなりません。その雪辱戦となった大会で選手が奮起。1回戦から攻めの姿勢を貫き目標の全国制覇まであと一歩のところまで迫りました。

1回戦では、全日本学生優勝大会(5人制)でベスト16まで進んでいる岡山商科大学と対戦。オール1本勝ち(相手の反則負け含む)の7-0で退け勢いの乗ると、続く2回戦では、5人制で準Vに輝いている福岡大学と激突。先鋒の足達実佳選手(柔道整復学科3年)が1本勝ちを収め幸先の良いスタートを切ると、五将の三谷頼子選手(柔道整復学科3年)、大将の宮城杏優菜選手(柔道整復学科2年)がそれぞれ1本を奪い3-1で勝利しベスト8へ駒を進めます。

11月の全国で敗れている筑波大学との再戦となった準々決勝でも、先鋒の足達選手が勝利し先行。その後も一進一退の戦いが続きますが中堅の新名寧々選手(柔道整復学科3年)が1本勝ちしリードを奪うと大将の宮城選手が得意の背負い投げからの合わせ技で勝ち3-1で前回のリベンジを果たしベスト4へ。準決勝では6年ぶり3回目の優勝を目指す強豪の帝京大学と対戦。序盤から相手にペースを握られ1-4で敗れ、決勝進出を逃しました。

主将として最後の団体戦に臨んだ林選手は「目標の優勝にはあと一歩届かず残念ですが、前回の全国で負けている筑波大学にもリベンジでき、毎日朝練習から頑張ってきた努力が少し報われた気持ちです。この悔しさは来年度、頼もしい後輩たちがきっと晴らしてくれると信じています」と感想を話しました。応援ありがとうございました。

登録メンバー

階級	氏名・学科学年
48kg級	宮城杏優菜(柔道整復学科2年) 野崎偉万里(救急救命学科2年)
52kg級	林美七海(鍼灸学科4年) 寺本佳伊梨(柔道整復学科2年)
57kg級	丸山佳代(柔道整復学科4年) 宮里心菜(看護学科1年)
63kg級	足達実佳(柔道整復学科3年) 三谷頼子(柔道整復学科3年)
70kg級	新名寧々(柔道整復学科3年) 山本楓花(柔道整復学科2年)
78kg級	西村美穂(柔道整復学科3年) 横守未来(看護学科2年)
78kg超級	上田莉佳(鍼灸学科4年) 白石奈穂実(柔道整復学科2年)

※先鋒63kg級、次鋒78kg超級、五将70kg級、中堅78kg級、三将57kg級、副将52kg級、大将48kg級の順。
<一つ上の階級での出場が可能>



初出場3位と歴史を築いた

優秀選手にも選ばれた足達選手



丸山選手

林選手

宮城選手

(2022.2.1)

女子サッカー部 全国大会で初のベスト8進出

秋季リーグ戦を5勝2敗の2位で2年連続4度目となる全国出場を果たした本学女子サッカー部。その全国大会(第30回全日本大学女子サッカー選手権大会<日本インカレ>)では、1回戦で東北チャンピオンの八戸学院大学と対戦。前半から持ち前の攻撃サッカーで攻め続け8-3で快勝し勢いの乗ると、続く2回戦では、東海覇者の名古屋経済大学と熱戦を展開。2-2で勝敗が付かずPK戦までもつれ込むもゴールキーパー小原選手のファインセーブなどもあり4-1で退け、初のベスト8進出を決めます。

準々決勝では、2回戦で前回本学が敗れている東洋大学をPK戦の末に下し勝ち進んできた筑波大学と激突。前半は一進一退の攻防を繰り返しますが、後半に入ると押し込まれる場面が増え63分にフリーキックからのこぼれ球をヘディングで決められ失点。その後も粘りを見せますが75分にも追加点を許し0-2で敗れ、4強進出はなりません。

それでもチームの目標でもあり過去最高順位となる結果に、古賀向日葵主将(柔道整復学科4年)は「4年間の集大成となる大会でベスト8という結果を残せたことを誇りに思います」と笑顔で話しました。



大会結果

関西秋季リーグ戦(1部)

②明治国際医療大学 5勝2敗

第30回全日本大学女子サッカー選手権大会(日本インカレ)

明治国際医療大学(2年連続4回目) ベスト8

12/24(金)1回戦 VS 八戸学院大学 8-3 ○

12/26(日)2回戦 VS 名古屋経済大学 2-2(PK戦4-1) ○

12/28(火)準々決勝 VS 筑波大学 0-2 ●

陸上競技部 シェイラ選手が駅伝、インカレで快走

第31回関西学生対校女子駅伝競走大会が2021年9月25日(土)、17チーム(オープン参加含む)が参加し、神戸しあわせの村周回コース(6区間・30.0km)を舞台に行われました。今回で5年連続5回目の出場の本学陸上競技部は、前半から積極的なレースを展開。各校のエースが集う3区(6.5km)でシェイラ・チェロティ選手(鍼灸学科1年)が4人抜き快走で本学初の区間賞を獲得するなど10位に順位をアップ。その後も粘りの走りでタスキをつなぎ昨年のタイムを4分以上縮める1時間50分07秒の11位と健闘しました。

また、2021年10月19日(火)から22日(金)までの4日間、第98回関西学生陸上競技対校選手権大会(関西インカレ)が大阪市のヤンマーフィールド長居で行われ、男子2部総合6位(39.5点)、フィールドの部4位(25.5点)、女子は8位(33点)に食い込み総合初入賞を果たしました。個人の男子ではやり投で藤原翔真選手(柔道整復学科1年)が優勝するなど10人が入賞と健闘。女子はシェイラ選手が1500m・5000mの2種目で優勝したほか、円盤投で榑野響木選手(看護学科1年)が2位、ハンマー投で濱口真幸選手(柔道整復学科1年)が3位と気を吐きました。



駅伝で快走するシェイラ選手

MAT ウォーキングサッカー体験会に参加

2021年11月23日(火)、広島県安芸高田市の吉田公園サッカー場で開催されたJWFA(日本ウォーキングサッカー協会)監修ウォーキングサッカー健康プログラム「誰でもチャレンジウォーキングサッカー体験会」に、演習の一貫として7人のMAT生が参加しました。ウォーキングサッカーは、「歩くサッカー」としてイギリスを中心に欧州で近年愛好者が増えている。年齢を問わず誰もが気軽に楽しめるスポーツです。通常のウォーキングと比べ3倍以上の消費活動量が得られるのが特徴となります。

今回の経験をもとに、MAT生が運営する大学発の「ユニバーサルスポーツイベント」として、誰もが一緒に楽しみながら、共に健康になれるイベントを企画していく予定です。



「市長と語ろう南丹市未来予想図」へ出席しました！！

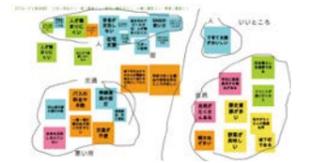
令和4年1月31日(月)南丹市役所において、南丹市内に在住または在学の高校生・大学生・専門学校生を対象に南丹市主催まちづくりミーティング「市長と語ろう南丹市未来予想図」が開催されました。本学代表学生として 柔道整復学科3年生三谷頼子さん、救急救命学科4年生日比亜月さんの2名が出席しました。

テーマは「これからも住み続けたい南丹市」として、南丹市に対する提案や意見を堂々と発表しました。

三谷頼子さんは、大学付近にはスーパーがないため、鍼灸大学前に地元農家と提携した野菜やお惣菜を提供できる道の駅スタイルでのスーパーを設置することで、学生や地域住民の日常生活の利便性が図られ、地域の生活にも貢献できるのではないかと提案を行いました。

また日比亜月さんは、南丹市に定住を促進するために、学生の街でもある南丹市が魅力ある生活環境の整備や定住支援に積極的に取り組むことで、もっと学生達にPRすべきである。また防災面においても災害時に不安な地域も多いことから、安全・安心な街づくりに積極的に取り組む必要があると意見を述べました。

南丹市長からは魅力あるまちづくりの実現に向けて、学生の意見を今後の市政に反映していきたい、初めての試みを盛會することができたことに対しお礼の言葉を述べられ、最後は参加者全員で記念撮影をいたしました。



コメント

三谷 「私は3年間南丹市に住んでいますが、市長や参加した他の学生から私の知らない南丹市のスポットや魅力が語られ、改めて南丹市の広大さを認識しました。今はコロナ禍でなかなか出歩くことはできませんが、落ち着いた頃には南丹市を散策してみたいと思います。」

日比 「南丹市長との意見交換ということで、とても緊張しましたが、伝えたいことは全て伝えられました。私は卒業し、来年度は南丹市から離れてしまいますが、今回のミーティングで少しでも学生が住みよい町になればと思います」



集合写真

苗村建慈病院長 京都府保健医療功労者表彰(知事表彰)を受賞

苗村建慈病院長が、医療過疎地域等の医療に対する協力を積極的に行うことにより、地域医療行政の推進に大きく貢献するなど、その功績が認められ、令和3年度 京都府保健医療功労者として京都府知事より表彰されました。



表彰式 2021年11月8日(月) ルビノ京都堀川にて



西脇知事と苗村病院長